



議員 木村 洋子  
（日本共産党）

## 問 物価高騰下の事業者に支援を

## 答 必要に応じた事業実施を検討

**問** 令和2年度末から続く燃油・物価高騰が事業者に大きな影響を及ぼしている実情がある。漁業をなりわいとしている個人の漁業者においては、頼みのウニ漁等も不振であった。農業者においては、凍霜害と高温障害に加えてシカの被害に苦しんでいるのが実態である。商工業者、農林漁業者の抱えている課題と支援策をどのように考えているか。

「原油価格・物価高騰対策支援金」の給付や「プレミアム付商品券事業」などの消費活動の喚起を行った。今後も、必要に応じた事業の実施を検討していく。



町民のニーズを的確に把握して補聴器の助成を

**問** 処理水の海洋放出への見解は

**答** 反対だが現実的な対応も必要

**問** 10月5日に2回目となる福島第一原発のALPS処理水の海への放出が開始された。三陸の海を漁場にして、風評被害と将来的な人体への影響が懸念される。処理水放出に対する見解と放出に対して反対の立場をしっかりと取っているのか。

**町長** 処理水の海洋放出には反対の立場だが、廃炉の安全・着実な進展と福島復興のため、現実的な対応も必要と認識している。国においては、水産資源への風評被害対策をしっかりと行うなど、漁業関係者などから理解と安心を得られるような取組を確実に実施していただきたい。

**問** 加齢性難聴者にも助成を

**答** 実施に向け検討する

**問** 加齢性難聴者への補聴器費用の助成を県内各自治体で実施に踏み切っている状況がある。宮古市においても、今年度から実施する予定である。高齢化の進行に伴う介護需要

の抑制効果も期待されることから、実施を考えるべきでは。  
**町長** 第2期地域福祉計画のニーズ調査結果により、高齢者の日常生活支援策として実施に向け検討を進める。